

2021年3月期第1四半期 決算説明資料

2020年7月31日

目次

1. 新開示セグメントの概要	P. 3
2. 2021年3月期 第1四半期決算	P. 4
3. 次の成長に向けた取り組み	P. 7
4. 株主還元	P. 10
5. 参考資料	P. 11

2021年3月期以降 開示セグメントの概要

新セグメント／組織		主な製品／旧セグメント		
メディカル・ヘルスケア	ヘルスケアSBU	コスメBU 健康食品BU	化粧品原料（1,3-BG、ポリグリセリン類） 健康食品（エクオール、セラミド）	有機合成
	CPIカンパニー	Analytical Tools BU	キラルカラム、高純度キラル試薬	
	事業創出本部	新事業開発部	製剤ソリューション（プレミックス添加剤）	その他
スマート	スマートSBU	ディスプレイBU	液晶保護フィルム用酢酸セルロース	セルロース
		IC/半導体BU	高機能光学フィルム	合成樹脂
		センシングBU	半導体レジスト、電子材料向け溶剤	有機合成
			光学デバイス、有機半導体デバイス	その他
セイフティ	セイフティSBU	モビリティBU	樹脂コンパウンド製品（自動車用途）	合成樹脂
		インダストリーBU	自動車エアバッグ用インフレーター	火工品
			イニシエータ、PGG、民生用火工品	火工品
マテリアル	マテリアルSBU	アセチルBU	酢酸セルロース（液晶保護フィルム用途以外） たばこフィルター用アセテート・トウ	セルロース
		ケミカルBU	酢酸、酢酸誘導体	有機合成
			エポキシ化合物、カプロラクトン誘導体、各種化学品	
エンジニアリングプラスチック	ポリプラスチック ダイセルミライズ DMノバフォーム ダイセルパックシステムズ		エンジニアリングプラスチック	合成樹脂
			樹脂コンパウンド製品（自動車用途以外）	
			樹脂成型加工品（シート、食品包装用フィルム）	
			水溶性高分子	セルロース
その他	ダイセンメンブレンシステムズ		メンブレン製品	その他
	セイフティSBU	特機事業部	防衛関連製品	火工品

2021年3月期 第1四半期業績

(単位：億円)

	2020/3 1Q実績	2021/3 1Q実績	前年同期比		通期予想 (※)	進捗率 %
			増減	%		
売上高	1,039	829	△ 210	△20.2%	3,860	21.5%
営業利益	92	31	△ 61	△66.3%	175	17.7%
経常利益	95	39	△ 56	△59.2%	195	19.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	53	6	△ 47	△88.1%	100	6.4%
為替レート USD/JPY	110	108			105	

新型コロナウイルスの影響により、自動車生産台数の減少をはじめ、様々な産業において需要が低下するなど、当第1四半期の事業環境は大きく悪化しました。

このような環境の中、主要製品の自動車エアバッグ用インフレーターや、エンジニアリングプラスチックの販売数量が減少したことなどにより減収に、営業利益は減益となりました。

また、営業減益要因に加え、インフレーター事業および防衛関連事業で特別損失（減損損失）を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益も減益となりました。

※ 2021年3月期通期業績見通しは2020年5月27日発表時点のものです。第1四半期決算時点での見直しは行っておりません。

セグメント別 売上高・営業利益（前年同期比）

（単位：億円）

売上高	2020/3 1Q実績	2021/3 1Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	40	39	△ 0	△0.7%	+4	△ 4	△ 1
スマート	63	51	△ 12	△19.4%	△ 11	△ 1	△ 0
セイフティ	204	107	△ 97	△47.6%	△ 93	△ 4	△ 1
マテリアル	269	256	△ 13	△4.8%	+6	△ 19	△ 3
エンジニアリングプラスチック	441	352	△ 89	△20.2%	△ 77	△ 12	△ 4
その他	22	24	+2	+9.3%	+2	-	-
合 計	1,039	829	△ 210	△20.2%	△ 170	△ 40	△ 10

営業利益	2020/3 1Q実績	2021/3 1Q実績	増減	増減率	分析			
					数量影響	価格影響	価格影響の内 為替影響	その他
メディカル・ヘルスケア	7	4	△ 2	△37.2%	△ 0	△ 3	△ 0	+1
スマート	13	6	△ 7	△53.1%	△ 5	+2	+ 0	△ 3
セイフティ	14	△ 23	△ 37	△269.8%	△ 54	+1	+ 0	+16
マテリアル	45	39	△ 6	△14.2%	△ 5	△ 4	△ 2	+2
エンジニアリングプラスチック	54	39	△ 15	△28.0%	△ 25	+8	△ 2	+2
その他	0	4	+4	+7016.7%	+4	-	-	-
全社	△ 41	△ 38	+3	+6.2%	-	-	-	+3
合 計	92	31	△ 61	△66.3%	△ 85	+4	△ 4	+21

事業の状況

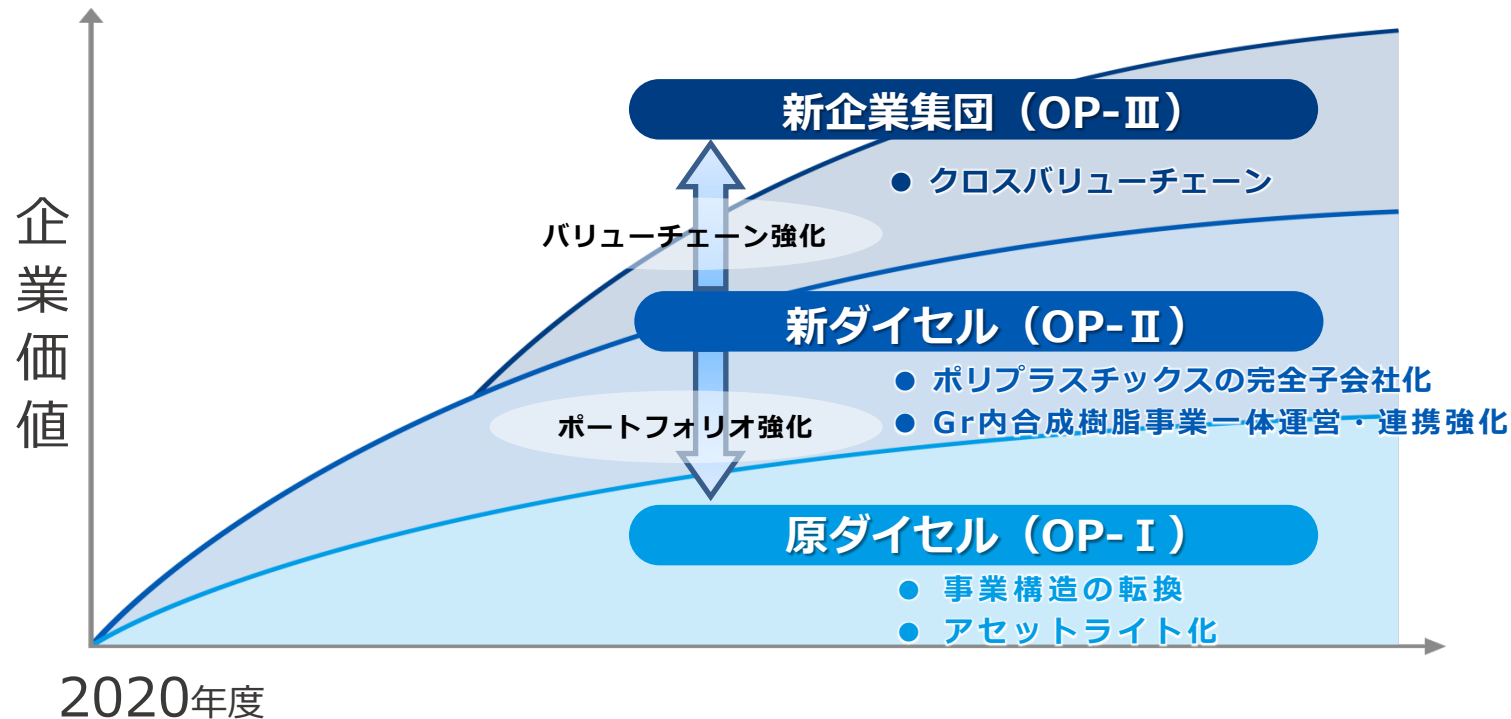
当第1四半期は、各事業において、コロナウイルスの影響を大きく受けました。

メディカル・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の実消費者需要が減少。 キラル分離事業は、アメリカで顧客の稼働が低下も、インドでの新規事業が伸長。
スマート	<ul style="list-style-type: none"> フラットパネルディスプレイ市場の需要が減少。 国内を中心に半導体市場が回復基調。
セイフティ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数が減少。
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> 酢酸は需要が減少、市況も下落。酢酸市況の下落に伴い、酢酸誘導体の販売価格も低下。 たばこフィルター用トウは、コロナウイルスの影響でたばこの販売が減少も、第1四半期は海外主要顧客において原料確保の動きあり。 カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、自動車生産台数の減少やディスプレイ市場の需要低迷の影響を受ける。
エンジニアリングプラスチック	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数が減少。 スマートフォンの販売低調。

新長期ビジョン・新中期戦略

当社は、6月5日に新長期ビジョン「DAICEL VISION 4.0」および新中期戦略「Accelerate 2025」を発表しました。

長期ビジョン「DAICEL VISION 4.0」実現に向けた3つのオペレーション、原ダイセル（OP-I）、新ダイセル（OP-II）、新企業集団（OP-III）を定義し、OP-I、OP-IIの実行とOP-IIIの実行準備を同時に進めるフェーズとして位置付けた中期戦略「Accelerate 2025」では、会社、工場の枠組みを超えたサプライチェーン全体での共存共栄により、企業グループのさらなる成長、企業価値向上を実現するための戦略を示しております。



ポリプラスチック完全子会社化

当社は、7月20日にCelanese Corporationと、同社が保有する全てのポリプラスチック株式を1,575百万US\$（約1,685億円）で取得する旨の契約を締結し、完全子会社とすることを発表しました。

ポリプラスチックを核とする事業再編を着実に進め、そして、新企業集団（OP-Ⅲ）へのさらなるアプローチとして、M&Aによる新事業・事業リソースの獲得、JV・アライアンスによる新事業獲得、業界再編の加速に積極的に取り組んでまいります。

ポリプラスチック完全子会社化の効果

地理的市場開拓の自由度が広がるとともに、新商材の開発や能力増強投資などの選択肢も拡大

▶ グローバル展開の加速

- LCP事業の欧米展開
- 需要増加に対応したタイムリーな能力増強

▶ 新事業開発の推進

- ダイセルグループの研究開発リソースを活用した新製品開発
- スーパーエンブラへのさらなる進出

▶ グループシナジーの最大化

- ビジネスモデルの横展開、市場共有による新規用途開発など、グループシナジーの追求
- 間接部門の機能統合や人財交流による人生産性の向上

新たな価値提供に向けた取り組み

【高信頼性瞬発パイロヒューズ】

PDD(Power Disconnected Device)

電気自動車など高電圧バッテリーによる感電防止や二次災害対策に安全かつ瞬時に遮断



【動物実験用新規投与デバイス】

アクトランザ™ラボ

遺伝子などの高分子物質を細胞内へ効率的にデリバリー
大阪大学とアンジェス株式会社のDNAワクチン共同開発に新規投与デバイス技術で参画



【爆ごう法ナノダイヤモンド】

DINNOVARE™ (ディノベア)

摩擦界面制御により金属フリーで省エネルギー駆動を実現



【海洋生分解性酢酸セルロース】

生分解性の向上、認証取得
海洋での生分解性を大幅に向上させたグレードを開発
日本バイオプラスチック協会(JBPA)よりバイオマスプラ、グリーンプラの認証を取得



No. 621
セルロースジアセテート



生分解性プラスチック
No. 1178
セルロースジアセテート

株主還元

2021年3月期

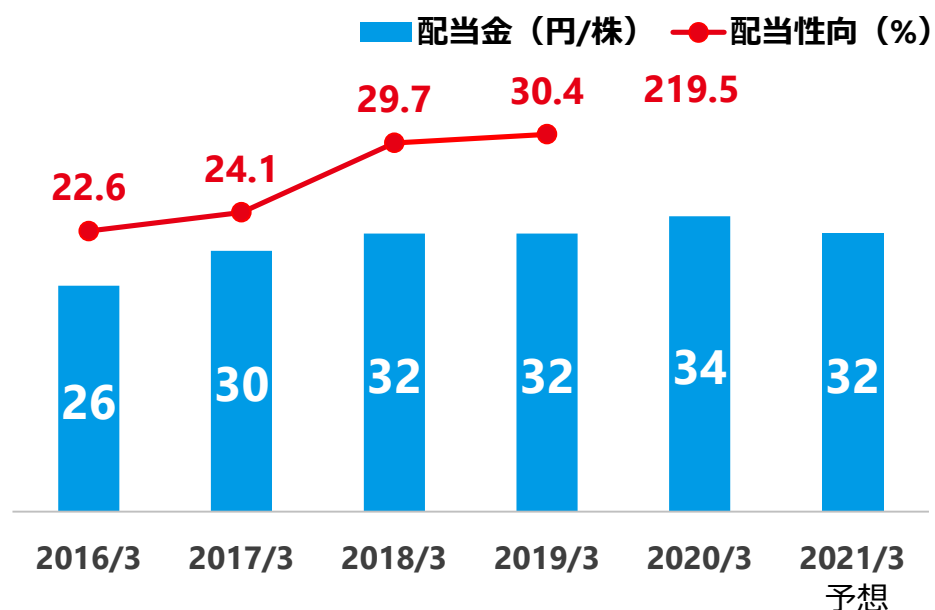
• 配当予想

年間配当予想 32円/株（前期の普通配当と同額。前期は他に記念配当2円/株を実施。）

• 約968万株、83億円の自己株式を取得（取得期間：2020年4月～2020年7月）

※2019年11月～2020年7月に約2,146万株、約200億円取得の当期分

(円/株)	2020年 3月期	2021年 3月期
中間配当	16	16 (予想)
期末配当	18 普通配当16円 記念配当2円	16 (予想)
年間配当	34	32 (予想)



参考資料

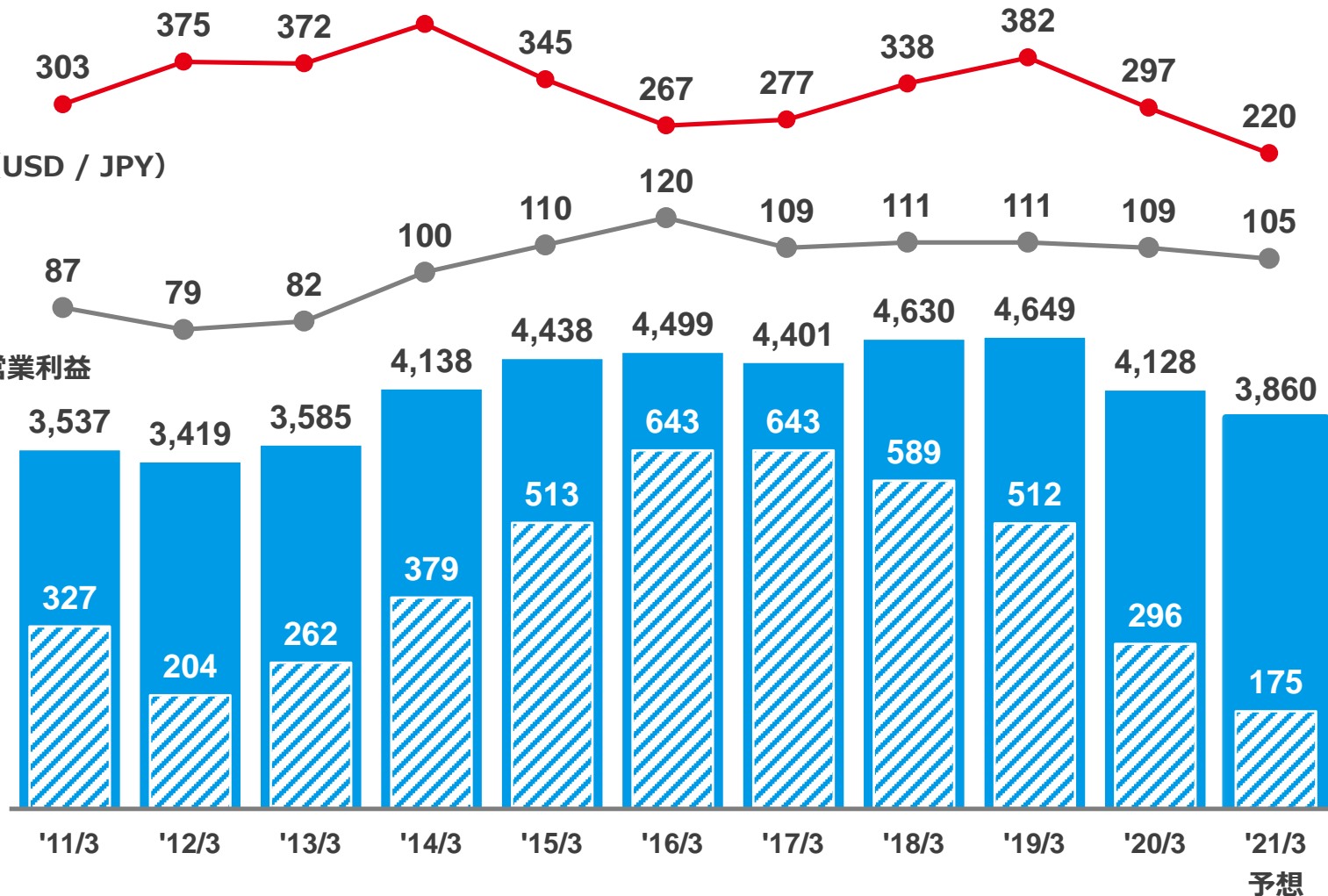
売上高・営業利益の推移・予想

(単位：億円)

● メタノールアジアスポット価格 (USD / ton) 439

● 為替レート (USD / JPY)

■ 売上高 / 営業利益



※ 2021年3月期通期業績見通しは2020年5月27日発表時点のものです。第1四半期決算時点での見直しは行っておりません。

連結貸借対照表

(単位：億円)

		2020年 3月末	2021年 6月末	増減	備考
流動資産		2,980	2,900	△ 80	
	現預金及び有価証券	814	844	+30	
	受取手形及び売掛金	795	669	△ 126	
	棚卸資産	1,174	1,189	+15	
	その他	197	198	+1	
固定資産		3,000	2,995	△ 5	
	有形固定資産	2,043	2,067	+23	新規取得+84, 償却△55, 減損△6
	無形固定資産	134	129	△ 5	
	投資その他資産	822	799	△ 23	
資産合計		5,980	5,895	△ 85	
負債		2,054	2,146	+92	
	有利子負債	928	1,115	+187	
	その他	1,126	1,031	△ 95	
純資産		3,926	3,749	△ 177	自己資本比率 59.0%
負債純資産 合計		5,980	5,895	△ 85	

連結損益計算書

(単位：億円)

	2020/3 1Q	2021/3 1Q	増減	増減率	備考
売上高	1,039	829	△ 210	△20.2%	
売上総利益	293	220	△ 73	△24.9%	
販売費及び一般管理費	202	189	△ 12	△6.1%	
営業利益	92	31	△ 61	△66.3%	
営業外損益	3	8	+5	+142.2%	
経常利益	95	39	△ 56	△59.2%	
特別損益	△ 3	△ 9	△ 6	-	減損損失△7
税金等調整前 四半期純利益	92	30	△ 63	△67.7%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	53	6	△ 47	△88.1%	
営業利益率	8.8%	3.7%	△5.1%		

2021年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

		2020/3 実績			2021/3 通期見通し			差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
	メディカル・ヘルスケア	78	72	151	70	85	155	+4
	スマート	129	125	253	100	145	245	△ 8
	セイフティ	398	350	748	270	340	610	△ 138
	マテリアル	551	543	1,094	490	555	1,045	△ 49
	エンジニアリングプラスチック	899	863	1,761	730	935	1,665	△ 96
	その他	52	69	121	60	80	140	+19
売上高		2,107	2,021	4,128	1,720	2,140	3,860	△ 268
	メディカル・ヘルスケア	10	3	13	5	0	5	△ 8
	スマート	23	10	34	6	19	25	△ 9
	セイフティ	24	10	33	△ 27	27	0	△ 33
	マテリアル	79	79	158	67	63	130	△ 28
	エンジニアリングプラスチック	120	89	209	70	90	160	△ 49
	その他	3	5	8	8	7	15	+7
	全社	△ 81	△ 77	△ 159	△ 79	△ 81	△ 160	△ 1
営業利益		179	118	296	50	125	175	△ 121
経常利益		187	131	318	60	135	195	△ 123
親会社株主に帰属する当期純利益		117	△ 67	50	15	85	100	+50

※ 2021年3月期通期業績見通しは2020年5月27日発表時点のものです。第1四半期決算時点での見直しは行っておりません。


前提条件

		2019/3		2020/3		2021/3	
		上期実績	下期実績	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
為替レート (USD/JPY)		110	112	109	109	105	105
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	403	360	277	245	220	220
	原油 ドバイ (USD/bbl)	73	65	64	56	25	25
	国産ナフサ (円/kl)	50,850	47,600	42,800	42,700	19,000	19,000

※ 2021年3月期通期業績見通しの前提条件は2020年5月27日発表時点のものです。第1四半期決算時点での見直しは行っておりません。

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。